

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～東住吉		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 6 日		～ 令和 8 年 3 月 18 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 6 日		～ 令和 8 年 3 月 18 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 24 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動等のスペースが十分に確保されているところ。	訓練室には不要なものを設置せず、運動療育に十分なスペースを確保しております。	引き続き運動療育に十分なスペースを確保する為に整理整頓を心掛けています。
2	子どもが安心感を持って通所しているところ。 子どもが通所を楽しみにしているところ。	常に、お父さまが楽しく活動できるような内容を職員で話し合っています。	これからもお子様が安心して楽しく通所して体を動かしていただけるように、これからも指導員一同尽力してまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援の機会が少ない。	プログラムの時間が決まっています調整が難しい。	ここ数年、イベントプログラムとして地域交流の機会確保に努め、5事業所合同で企画を行っております。今後も皆様に参加していただけるようなプログラムを考えていきたいと思っております。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	プログラムの時間が決まっています調整が難しい。	ここ数年、イベントプログラムとして地域交流の機会確保に努め、5事業所合同で企画を行っております。今後も皆様に参加していただけるようなプログラムを考えていきたいと思っております。
3			